



会報誌 「ちーたー」

創刊準備 第2号

(2013年2月27日発行)

若年認知症交流会小さな旅人たちの会開設準備会

若年認知症交流会小さな旅人たちの会（ちいたび会）
設立賛同者 各位

第2号の内容

1. 設立総会の開催と NPO 法人の認証申請
2. 平成 25 年度前半の事業予定が決まりました！
3. 会報誌「ちーたー」の掲載内容について（意見募集）
4. 理事長の窓「ちーたー時速 100 k m！！」

設立総会の開催と NPO 法人の認証申請

■設立総会の開催

去る 2 月 9 日（土）に、中野区鷺宮区民活動センターにおいて、設立総会を開催しました。（22 名の正会員中、17 名出席（うち委任状出席者 5 名））

当日は、出席者各人の自己紹介、そして NPO 法人の認証に必要となる議案審議を中心に議事を進め、全ての事項について承認を得て終了したのですが、予定していた 2 時間では収まらず、施設の管理人から退出を促されてもまだ終わらず、結果として 20 分超過しての会議終了ということになりました。

自己紹介では、出席した会員のみなさんから、ご経験、本会に対する期待などについて、じっくりとお話をお聞きすることができました。

議案審議についても、重要な点について多くの指摘があり、限られた時間ではありましたが、中身の濃い意見交換をしながら、すべての議案が承認されました。

「設立総会における議案」

第一号議案 会の設立について

第二号議案 定款について

第三号議案 設立当初の役員について

第四号議案 設立当初の資産について

第五号議案 事業計画及び活動予算について

第六号議案 設立当初の入会金及び会費について

第七号議案 確認書の確認について

第八号議案 法人設立認証申請について

■設立総会でやりとりされた主な内容

(1) 趣旨書への追記

趣旨書は会が何をめざすのかを示す重要な文書であるので、一般の方が読むことを想定して、書き出し部分に認知症全般についての記述を追加した方が、よりわかりやすくなるのではないかと提案がありました。また、理解を助けるために、対象となる患者数など若年認知症の具体的状況に関する記述を追加したらどうかという提案もあり、検討の結果、提案のあった内容を反映し、原文を尊重しつつ、趣旨書に追記することとなりました。

(2) ちいたび会が目指す方向性の確認

本会が認知症のなかでも、若年認知症にスポットをあてて活動すること、また、既存の広域型交流会活動を踏まえた地域密着型の活動を目指すことの2点について、改めてこの場で確認したいとの提案があり、全員一致で確認されました。また、この点についても、趣旨書に追記することとなりました。



(3) 事業計画、予算の決定手順について

本会の定款では、第31条に理事会の権能を規定し、「事業計画及び予算並びにその変更」を理事会で議決する事項の一つとして位置付けています。

この点について、総会の議決事項とし、会員全員の意思を十分に反映できるしくみとするほうがよいのではないかと指摘がありました。その点に対して、本会の活動目的から考えると、活動に参加するできるだけ多くの方からお聞きし組み入れていくことが重要だと認識しているが、本会では、旅行のお手伝いも事業の一つとしている関係から、柔軟な運営を確保するために、敢えて総会ではなく、理事会での議決事項として位置付けたとの説明がありました。

さらに、全会員の意見を反映させるための実際の運用として、事業計画案及び予算案の決定前に、正会員、登録会員（家族等）を対象とした意見聴取の機会（全体会の開催など）を設ける予定であること、そのうえで、実務的、技術的な観点を追加して、理事会が事業計画及び予算を決定していく考えであるとの説明がありました。

(4) 理事会の体制について

当初の理事が3人であることについて、不測の事態発生も考慮し人数の増員について検討すべきではないかと指摘がありました。その点について、当初は機動性を重視して3人体制でスタートするが、今後の状況をみながら、体制拡充の検討もしていきたいとの説明があり、そのうえで体制案が承認されました。

(5) 設立当初の役員の人選について

理事に高橋恵美子氏、高橋昭彦氏、巻島道子氏、監事に鈴木廣文氏とすること、また、理事のうち、理事長に高橋恵美子氏、副理事長に高橋昭彦氏とすることについて承認されました。役員のうち報酬を受ける者はいないことも確認されました。

■東京都への認証申請

設立総会での議案承認を踏まえ、2013年2月15日付で東京都に認証申請書を提出しました。

<特定非営利活動法人（NPO 法人）の設立までの道のり>

都による公告・縦覧（2か月） → **都による審査**（約2か月） → **設立登記**

申請受理日から4か月以内に審査認証（不認証）の決定がされ、その後に設立登記を行うこととなります。順調に行けば、6月後半に法人設立となる見込みです。

平成25年度前半の事業予定が決まりました！

■交流会の日程（決定）

来年度の前半について、以下のとおり、交流会を開催することとしました。

原則として、隔月（偶数月）の第2土曜日の午後に定期開催します。

交流会の正式な発足は8月を予定していますが、それに先立ち、プレ実施の機会も設けます。また、交流会各回の概ね1月前にスタッフ会議を開きます。会場、時間等、詳細については後日お知らせします。

<交流会>

6月8日（土）	交流会プレ実施
8月10日（土）	第1回交流会
10月12日（土）	第2回交流会



<スタッフ会議>

5月25日（土）（講習：若年認知症について、ピアサポートの進め方等）
7月13日（土）（プレの振返り、第1回交流会開催に向けて）
9月14日（土）（前回振返り、旅行会、次回交流会開催に向けて）

■設立記念総会

7月20日（土）か27日（土）の午後 ※講演会と懇親会を想定

■10月以降の仮スケジュール

10月 ◇定期旅行会の実施（近県の温泉地への1泊旅行）※10月後半～11月
11月 スタッフ会議（旅行会、前回交流会の振返り、第3回交流会に向けて）
12月 ○第3回交流会の開催（内容：屋内イベント(Xmas会など)）
14 1月 スタッフ会議（振返り、新年会、第4回交流会開催に向けて）
2月 ○第4回交流会の開催（参加者交流主体）
3月 スタッフ会議（前回の振返り、第5回開催に向けて）
4月 ○第5回交流会の開催（屋外イベント(花見など)）

会報誌「ちーたー」の掲載内容について（意見募集）

ちいたび会では、会員みなさんと情報を共有し、また、一体感を高めるために、会報誌「ちーたー」を定期発行する予定ですが、発行事務局としては、地域密着型の活動を目指す本会の特色を活かせるような紙面づくりに努めたいと考えています。

連載記事として、以下のようなテーマを考えていますが、こんな内容も取り上げてほしいというものがありませんでしたら、ぜひお寄せください。

また、会報誌の企画、編集スタッフも募集します。我こそはと思う者はふるって応募されたし。ホームページの企画、編集スタッフも同時募集します。

＜連載記事の想定＞

- 地域包括支援センター訪問記（施設の概要、職員インタビュー）
- 公的支援制度の活用を考える（何が利用できる？ どこに相談？ 活用者の声）
- 家族の声（体験を通じて）、地域の声（まちの人に聞く）
- 地域の資源を探る（認知症アドバイザー医、デイサービス、立ち寄りスポット等）
- 若年認知症を正しく知る（疾病に関する正しい知識を身につける）
- ちょっと聞きたいコーナー（読者質問、例：NPOになるとどんなメリットが？）

理事長の窓 「ちーたー時速 100km！！」

○前号で旅行先の情報提供のお願いをしましたが、早速に情報をいただきまして、先日（2/24）、埼玉県の秩父まで下見に行ってきました。旅館側のご理解もいただきましたので、今回は、本人・家族も同伴でお試し宿泊ができればと考えています。個別に相談させてください。料理もおいしい温泉旅館です。

「囲炉裏のある宿 秩父 小鹿野 小鹿（おじか）荘」 <http://www.ojikasou.co.jp/>

○時間超過については、反省しなければなりません、活発に意見のやりとりがされる、本当によい設立総会だったと思います。素晴らしいメンバーが参加してくださっていることの幸せを大いに感じさせていただきました。今後とも、よろしくお願いいたします。

○字数の多い紙面で申し訳ありません。編集責任者の性格です。スタッフ募集中！



次号は、3月下旬発行予定です。（交流会プレ実施について等）お気づきの点などございましたら、お気軽に以下の発行事務局までご連絡ください。

〔発行責任者〕若年認知症交流会小さな旅人たちの会（ちいたび会）
理事長 高橋 恵美子

〔編集責任者〕高橋 昭彦

〔連絡先〕Eメール：honbu@chiitabi.jp